

会

告

昭和 35 年度第 60 回秋季講演大会について

さきに本誌第 46 年第 7 号会告欄に掲載致しましたように、本会は来る 10 月 3 日（月）4 日（火）5 日（水）の 3 日間札幌市において第 60 回講演大会を、また日本金属学会と連合で 3 日午後 1 時 30 分より特別講演会、同 6 時より懇親会、6 日（木）7 日（金）の両日札幌市および室蘭市付近の主要工場その他の見学会を開催いたします。

今回の出席申込締切は例年より早く 8 月 20 日となつておりますので、第 46 年 7 号会告欄をご参照のうえ至急お申込み下さい。なお出席申込用紙も同号に添付してあります。

締切期日も迫っておりますのでまだお申込でない方は至急お申込み下さい。

第 6 回日本鉄鋼協会九州支部講演大会開催について

本会九州支部は日本金属学会九州支部と共催で、下記の通り講演会ならびに見学会を開催いたしますから多数御参加下さいますよう御案内申し上げます。

記

講演会

日時 昭和 35 年 9 月 16 日（金）9・30～16・05

場所 九州大学工学部（福岡市箱崎）

演題

(1) 開会の辞（9・30～9・35）

(2) 最近の機器分析法について（9・35～10・15）

(3) 超高純度金属の製造とその分析法について（10・20～11・00）

(4) 内部摩擦法での固溶 N.C の定量（11・05～11・30）

(5) Slag の炎光分析について（11・35～12・00）

中食（12・00～13・00）

(6) カントメーターカントバックについて分光分析法の理論と問題点（13・00～13・40）

(7) 蛍光 X 線分析法について（13・45～14・20）

(8) 化学分析法（14・30～15・10）

(9) 高感度ポーログラフについて（15・15～15・55）

(10) 閉会の辞（16・00～16・05）

日本金属学会九州支部長 谷村 照 君

九州大学理学部 三角 省三 君

三井金属鉱業中央研究所 和田 次郎 君

八幡製鉄所技術研究所 青木 宏一 君

住友金属工業小倉製鉄所 新見 敬古 君

島津製作所 遠山健次郎 君

理学電機 新井 知也 君

日立製作所多賀工場 黒羽 逸平 君

柳本製作所研究部 安盛 善一 君

日本鉄鋼協会九州支部長 湯川 正夫 君

見学会

日時 昭和 35 年 9 月 17 日（土）9・30～15・00

見学 1. 日本ゴム K K 久留米工場

2. ブリヂストンタイヤ K K 久留米工場

3. 有馬記念館（中食）

4. 石橋文化センター

見学参加者は 9 時 30 分まで西鉄久留米駅前に集合して下さい。

申込要領

9 月 10 日までに所属、職名、氏名、講演会出欠、見学会出欠、明記のうえ

福岡市箱崎九州大学工学部内日本金属学会九州支部あてお申し込み下さい。

なお見学会参加者は参加費 200 円（中食費、バス代、石橋文化センター入場料）をお添え下さい。

（9 月 16 日講演会当日会場受付にてお払い下さっても結構ですが見学会出欠は前もつてお知らせ下さい）

北陸支部秋季講演大会講演募集

本会北陸支部では金属学会北陸信越支部と共催で下記の通り講演会ならびに見学会を開催致しますので多数御参加下さいますよう御案内申し上げます。

1. 申込要領: 題目, 講演者, 所要時間, 幻灯使用の有無, 講演時間は大体 20 分間を予定しています。
なお研究発表の場合は講演者の氏名を明記願います。
2. 会 期: 昭和 35 年 11 月 17 日 (木) 講演会
" 18 日 (金) 見学会 (高岡, 氷見方面)
3. 会 場: 富山大学工学部 (高岡市古定塚)
5. 申 込 先: 日本鉄鋼協会北陸支部 (富山市石金 20 不二越鋼材工業株式会社技術研究所内)
4. 申込締切: 昭和 35 年 9 月 20 日

国際製団シンポジウムについて

(International Symposium on Agglomeration)

表記の討論会が, アメリカ採鉱冶金石油学会 (A.I.M.E.—American Institute of Mining, Metallurgical and Petroleum Engineers) 主催の下に, 1961 年 4 月アメリカ・フィラデルフィア市において下記要領により開催されるについて, 同学会より参加方招請がありましたので会員各位にご通知致します。

記

1. 日 時 1961 年 4 月 12, 13, 14 日
2. 場 所 アメリカ・ペンシルバニア州フィラデルフィア市
3. シンポジウムの範囲と目的 焼結ペレタイジング, ノデュライジング, ブリケッティング, 粉末冶金, セラミック結合その他の関連工程を論じ, 適用範囲は鉄鉱石, 非鉄鉱石, 炭素含有材料, セラミックその他の非金属類におよび主として製団の基本的の面について論及す。
4. 予定プログラム

4 月 12 日 (水)	4 月 13 日 (木)	4 月 14 日 (金)
午前: 原料の特性	午前: 製団工程—I (I)	午前: 製品の評価と利用
正午: 歓迎午宴会	午後: " — (II)	午後: 経済問題および工程設計
午後: 原料の事前処理	夕: 親善晩宴会	
5. 出席希望者 出席希望者または詳報入手希望者はつぎの返信用ハガキにより
詳報希望者 成るべく早く申込まれたし。

(裏)

(表)

International Symposium
on Agglomerative—1961

I hope to attend the symposium

I wish to receive further particulars
when available

Please send me details of contents
and price of the volume of pro-
ceedings when available.

Name(capitals).....

Address

Please
Indicate

☐

☐

☐

Reply Post Card

W. B. Stephenson, General Chairman

International Symposium on

Agglomeration.

P.O. Box 635

Paoli, Pennsylvania,

U.S.A.

6. 論 文 シンポジウム用の技術論文は各国の専門家によつて書かれるが, 論文はアブストラクトの形で提出されて討論される。
7. 前 刷 論文の前刷はシンポジウム開催前に参加予約者に送付す。
8. 用 語 シンポジウムの公用語は英語とし, 討論席上には外国語翻訳の専門家が出席する。
9. 参 加 費 参加費は A.I.M.E. 会員 \$ 25.00
(Registration Fee) 非会員 \$ 27.00
(前刷および会議報告各一冊代を含む)
10. 旅行および宿 泊 旅行および宿泊については Official Travel Agent, American Express Co. を指定する。

備考: 日本における同社の代理店所在地は東京都千代田区丸ノ内 2~20 郵船ビル内同社
本件に関し詳細事項ご希望の方は招請状のし写を差し上げますので協会までお申出下さい。

第 14 回印度金属学会大会について

来る 12 月 1 日より 4 日まで印度ビライ (Bhilai) において開催される標記の大会に参加方下記の通り招請がありましたので、本会々員で参加ご希望の方は協会までお申出下さい。

Gentlemen :

The Fourteenth Annual Technical Meeting of The Indian Institute of Metals will be held at Bhilai from 1st to 4th December 1960. The programme will include a Symposium on 'USE OF OXYGEN IN THE MANUFACTURE OF IRON AND STEEL'.

The 7th Metallographic Contest and Exhibition will also be held during the Session. In addition to the Technical Meeting, plant visits and social functions will be included in the programme.

As you perhaps know, Bhilai is the location of one of the three new one-million-ton integrated steel plants which have recently come into production in India. The Bhilai Plant built by the Government of India with assistance from the USSR contains many interesting features. It is proposed to have special lectures delivered by the Russian Engineers at Bhilai in the Fourteenth Annual Technical Meeting.

On behalf of The Indian Institute of Metals, I invite you to participate in our Meeting. We shall welcome members of your Organisation who may be visiting India at that time. Further particulars and detailed programme will be sent to persons who are interested in attending this Meeting.

THE INDIAN INSTITUTE OF METALS

31, CHOWRINGHEE ROAD, CALCUTTA-16.

アヘマ第 13 回化学工業博覧会および 化学工業会議について

(Achema 1961, 13th Chemical Engineering Exhibition—Congress)

アヘマ (Achema) はドイツ化学機械協会とヨーロッパ化学技術連盟との共催により 3 カ年毎に開かれる化学工業博覧会および欧州化学工業会議でありまして、その重要性はつとに内外から十分に認められています。前回は 1958 年ドイツ・フランクフルト・アム・マインで開催され 56 カ国から約 65,000 人の専門家と約 15,000 人の内外学生が参加しました。次回は 1961 年 6 月 9 日から 17 日まで同じくフランクフルト・アム・マインで開催されることになり、同事務局より、参加招請がありましたので会員各位にお知らせ致します。

なお、本件に関する詳細事項をお望みの方は当協会までお申出下さい。